

来月は地区大会

校長 武井 正明

火曜午前は新潟で会議があった。ホテルを出たら陽射しが刺すようだった。

放課後、野球部の再スタートが気になって球場へ。すると、一段と威勢のいい挨拶が返ってきた。スッキリ前を向いた面々を見ていると、私の心配はどうやら杞憂だったようだ。

女子地区大会会場になっているテニス部も気になる。

男子はボレーの練習、3年の彼からラケットをお借りして少し混ぜてもらった。やりながら大切なのはセカンドサーブのリターンをいかに厳しいところに返せるか、それも精度高くねらい過ぎず確実に。これがなかなか高難度の課題だ。皆その克服に懸命だ。

女子は実戦形式で練習していた。思わずメンバーに入れてもらう。

4対4、ダブルス形式。ワンプレー毎に入れ替わり打つ。ミスを2回したら退場。生き残り最終的にはシングルスで決着も可能性もある。

これが、緊張感があって楽しかった。

やりながら思うのが、チャンスボールが上がると、どうしても一瞬心にスキが生じる。油断が即凡ミスに繋がる。だからこそ「平常心で」プレーすることが大切だ。

運動が苦手な私の娘と違って、娘の旦那さんはテニスが趣味。現在もいろいろな大会に出て優勝はじめ上位入賞を果たしている。高校時代はインターハイ出場、他県代表選手から勝利した。「もうかなりきついですけど、体力の持つ限りテニスは続けたいですね」と話す笑顔が、実に爽やかだ。

何もせず底辺で潜行していた私の高校時代とは真逆、眩しすぎる高校時代だ。しかもテニス…相当モテたろう。そういえば私の大学時代のテニスサークルも、青春を謳歌する男女たちが「センパーイ！」などとキャッキヤ楽しそうだった。その時も俺たちは、葉陰からその光景をシダ植物のように眺めていたものだ。

話がかかなり逸れた。来月はいよいよ地区大会。

昨日朝は女子バレー部のキャプテンと水泳部の彼女と北吉田駅で一緒に降りた。

バレーの会場は三条体育文化会館。相手は強豪大崎学園だが、無心で挑んでほしい。水泳会場は長岡フェニックスプール。どちらの会場も必ず応援に行く。

中学時代の青春は一生で一度きり。君たちが輝く瞬間を、私のカメラは絶対逃さない。

あなたの本気にピントを合わせる瞬間が、今から楽しみでたまらない。俺を痺れさせてくれ!!